

“コロナ最前線で“戦う「影のヒーロー」”

4/13(月) 15:00 配信



# Kashima Sports Club After School Care

国民、市民の生活を支える「影のヒーロー」

最前線で戦う、鹿島小児童クラブ、三笠小児童クラブ、豊郷小児童クラブの先生達

新型コロナウイルス感染者が 8,116 人を超え、死者の数が 149 人に到達した日本は、今まさに国家の危機に直面しようとしている。

ウイルスという目に見えない敵と戦う医療従事者の数も不足し、日々不安の度合いは高まるばかり……。

その中で、医師、看護師、技師、薬剤師らが国民、市民の健康のために戦っているのなら、「コロナ最前線」に立ち、国民、市民の生活を支えてくれているのが、[学校休校](#)、[外出自粛](#)の中、使命感と責任感で生徒を預り、教壇に立ち続けてくれている児童クラブの先生達だ。

[学校休校](#)、[自宅待機](#)、[外出自粛](#)といっても、児童クラブでの預り、授業は認められている。

たしかに、児童クラブは共働きやひとり親家庭の小学生が放課後や夏休みなどに、宿題をしたり友達と遊んだりする居場所で、こうした家庭にとっては仕事を続けるための命綱と言える。

しかし、発症前の人、症状が出ない人、いわゆる潜在的な感染者の数は把握されておらず、3密（狭い教室、平常時と変わらない生徒数）の中、生徒と日常的に交流する児童クラブの先生方の感染するリスクは高い。

こんな時だからこそ、児童クラブの先生方の健康と、安全の確保を最優先に、重要な子育て支援策と再認識し態勢強化を図るべきだ。